

買物支援から雇用支援への拡大 ～行政と連動したシニア雇用促進～

2019年1月23日
人事部 眞野 義昭

セブン&アイHD グループ会社概要



 <p>総合スーパー</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆イトーヨーカ堂 ◆丸大 <p>等</p>	<p>コンビニエンスストア</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆セブン-イレブン・ジャパン ◆7-Eleven, Inc.  <p>等</p>	<p>百貨店</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆そごう・西武   <p>等</p>
 <p>食品スーパー</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ヨークベニマル ◆ヨークマート <p>等</p>	<p>グループ売上※ 11兆482億円</p> <p>営業利益 3,916億円 (18年2月期)</p> <p>※「グループ売上」は SEJ及び7-Eleven, Inc.の チェーン全店売上高を含めた数値</p>	<p>フードサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆デニーズ  <p>等</p>
 <p>金融サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆セブン銀行 ◆セブン・カードサービス <p>等</p>		<p>IT/サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆セブン&アイ・ネットメディア ◆セブン・ミールサービス <p>等</p> 
 <p>専門店</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ロフト ◆赤ちゃん本舗 ◆Francfranc <p>等</p>		<p>グループ合計 170社</p>

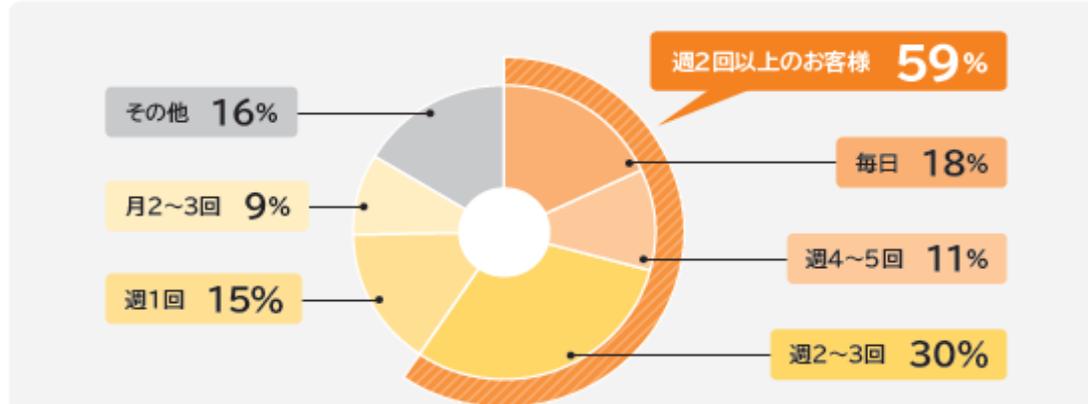
チェーン全店売上(国内)

4兆6,780億83百万円

国内店舗数

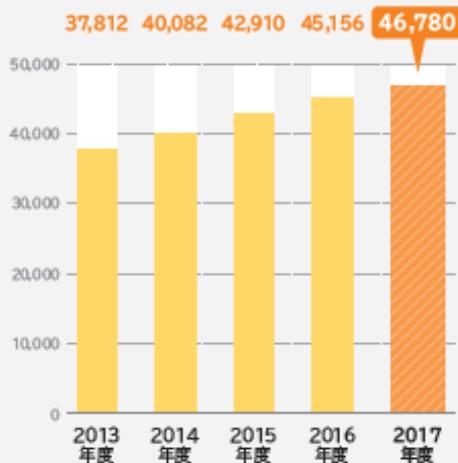
20,600店

来店頻度



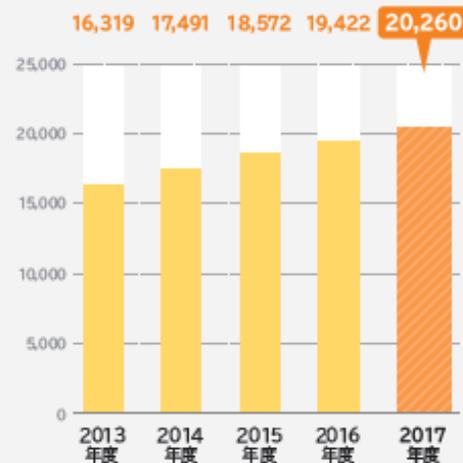
チェーン全店売上(国内)

(単位:億円)



国内店舗数

(単位:店)



自己紹介

株式会社

セブン-イレブン・ジャパン
人事本部 人事部GM

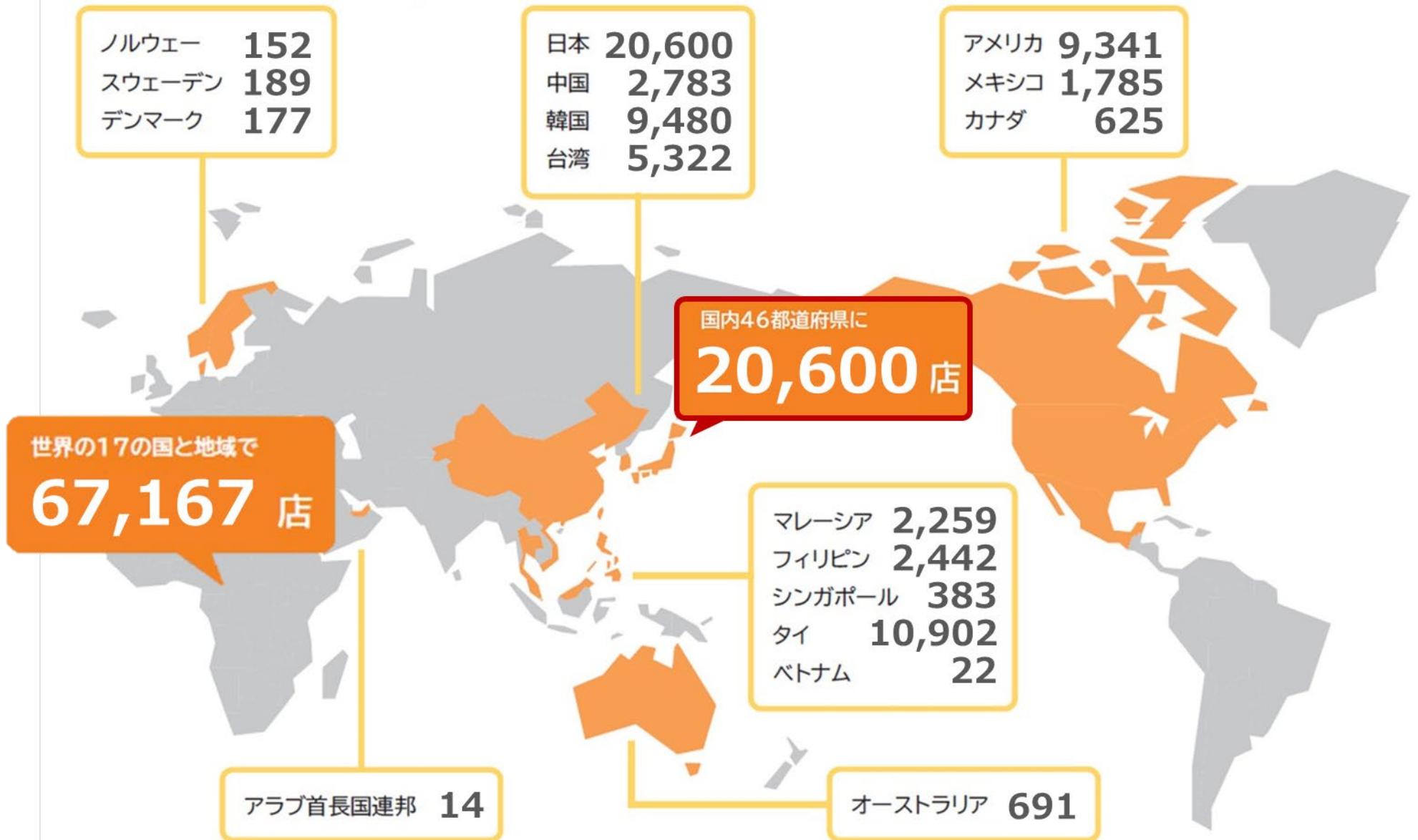
眞野 義昭

- ・ 1994年 入社
- ・ 1996年～ OFC(店舗経営相談員)
- ・ 2000年～ DM(エリアマネジャー)
- ・ 2003年～ 人事部M・GM
(人事・採用・社員教育)
- ・ 2016年～ 予算部GM
- ・ 2018年～ 人事部GM

セブン-イレブン店舗数

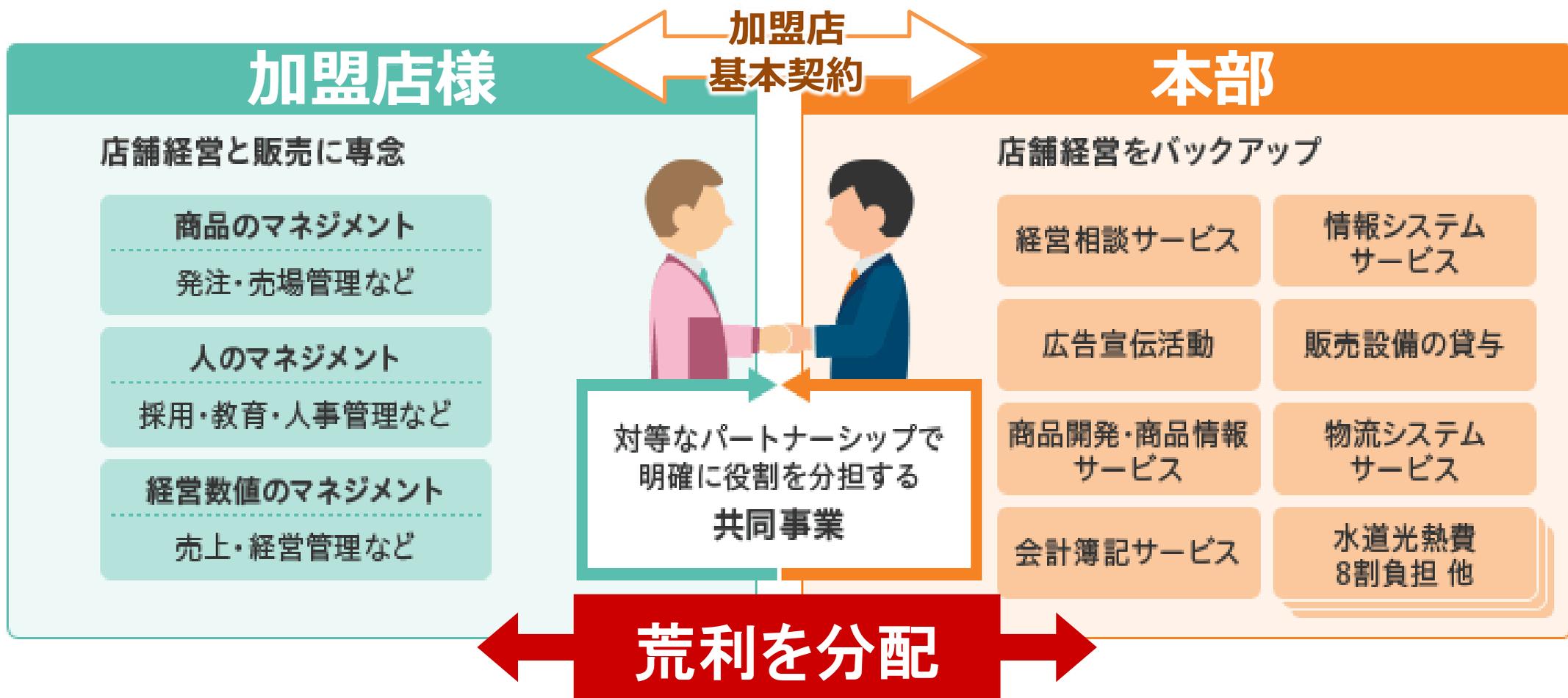


株式会社
セブン-イレブン・ジャパン



2018年9月末現在

加盟店は、独立の事業主として店舗を経営 本部は、店舗経営のバックアップを行う



**社会的な課題をニーズと捉え、
変化する時代に合った商品、サービスを
タイムリーに提供し続ける**

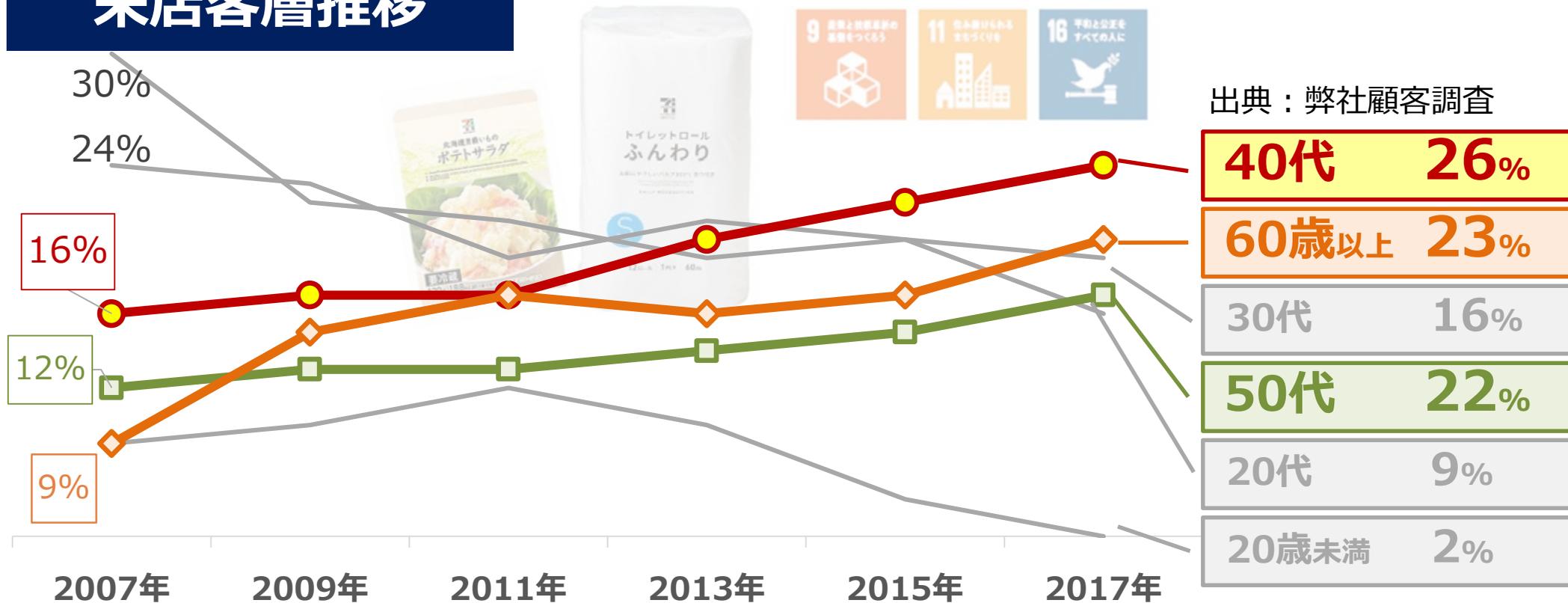
『**変化対応業**』としての不変のスローガン

変化への対応と基本の徹底

セブン-イレブンの変化

変化に対応する事でシニア層の利用が増加 人の採用についても、変化への対応を実施

来店客層推移



本部として、加盟店様のシニア雇用をサポート

- ①自治体との
『高年齢者等の支援に関する協定』締結
- ②加盟店様との連携
シニア雇用説明会、定着支援
- ③自治体・ハローワークとの連携
仕事紹介・体験イベント
ハローワーク様による求人票の配布

高齢者等の買い物支援、雇用促進に向け 2018年11月末現在481の自治体と協定を締結

NEWS RELEASE



2016年4月22日

宮城県とセブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂及びヨークベニマルとの 高齢者等の支援に関する協定を締結

高齢者等の見守り活動、高齢者雇用、認知症サポーター養成を推進

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：井阪 隆一）、株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長：亀井 淳）、株式会社ヨークベニマル（福島県郡山市、代表取締役会長：大高 善興）は、2016年4月22日（金）、宮城県（村井 嘉浩知事）と地域社会における安全・安心の取り組みの一環として、『宮城県とセブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂及びヨークベニマルとの高齢者等の支援活動に関する協定』を締結いたします。

本取り組みは、高齢化社会の進行や単身世帯の増加、ならびに小売店舗をはじめとする様々な地域拠点の減少といった社会環境の変化が進む中、宮城県と3社が連携・協力して、高齢者等の見守り活動や高齢者雇用、認知症サポーターの養成を通じて安全・安心な街づくりを推進していくものです。

セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、ヨークベニマルは、今後も地域社会との連携を深め、商品・サービスの提供だけでなく、地域拠点としての店舗づくりを推進してまいります。

記

1. 協定の名称 「宮城県とセブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂及びヨークベニマルとの高齢者等の支援に関する協定」
2. 協定締結日 2016年4月22日（金）
3. 協定の趣旨

協定の内容（代表例）

- ・ 高齢者雇用
- ・ 店舗営業時の見守り
- ・ 商品配達時の見守り
- ・ 認知症サポーター養成
- ・ 自治体との連携イベント

等

シニア雇用に興味がある加盟店オーナー様へ 面接～採用・教育についての説明会を開催



■ 地域ごとの勉強会

シニア雇用の必要性についての共有

シニア人財の就労意欲、他店舗事例での活躍事例を共有



■ ハローワークによるご説明

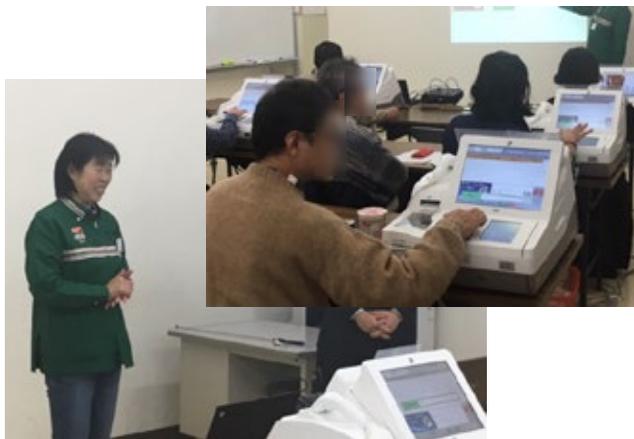
シニア従業員の方の面接方法、ポイント
採用後は時間をかけた教育が必要になるが
戦力化による事例を共有

自治体・ハローワーク・セブン-イレブンの三者連携、安心感のある就職イベントを開催



■ お仕事説明会

シニアの求職者へ仕事説明会を定期開催
レジ操作等を体験いただくプログラム
ポスターやチラシに自治体のマークやハローワークの案内で、安心感が高まる



■ レジ体験・現役シニア従業員Q&A

本物のレジを操作を体験
実際に働いていらっしゃる従業員様へ
質疑応答を行い**参加者の不安を払拭**

③ ハローワーク：求人票の配布

ハローワーク様主催時は、SEJ店舗経営相談員もサポートに加わり希望条件に合う求人票を配布

説明会会場

地域
お店の雰囲気
仕事内容...



ミスマッチを防止

応募





株式会社

セブン-イレブン・ジャパン